

## 西区自治協議会 第1部会 令和7年度 第11回会議概要

(所管分野:防犯・防災、自然環境、住環境等)

開催日時	3月13日(金)午後4時00分～5時10分		会場	西区役所4階 対策室
出席者	委員	出	伊藤(健)部会長、伊藤(正)副部会長、関委員、丸山委員、 風間委員、岩沢委員、田村委員、古俣(和)委員 計8名	
		欠	久保田委員	
	事務局	地域課・兼島課長 ほか2名		
主な議事	<p>(1)前回の振り返り ○前回の会議概要をもとに振り返りを行いました。</p> <p>(2)第10期の提案事業について  <b>【高校生と連携した自転車盗難防止事業】</b>                  ○資料3に基づき、事務局より、ノベルティ関連の発注状況、納品時期について説明がありました。                  ○今後は、高校生の新学期が始まってから、4月中旬を目途に、委員と生徒会との顔合わせや、ノベルティ封詰め作業行うことにしました。</p> <p><b>【地域の防犯講演会応援事業】</b>                  ○資料2-1に基づき、前回の防犯講演会開催希望調査で未回答だったコミ協に対して、改めて開催希望調査表を送付し、4月以降の希望を聞き取ることにしました。依頼は自治協議会の1号委員経由で渡すこととし、3月の本会の場で第1部会長からお願いしてもらうことにしました。                  ○5月、6月に開催予定のコミ協に対して、4月以降具体の相談を行うことにしました。</p> <p><b>【自主防災組織の防災意識向上事業】</b>                  ○前回の会議の内容を踏まえて、防災について、発信したい情報とその手段、ツールを検討しました。                  ○意見交換で出された主な意見は以下の通りです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 住民一人ひとりが防災準備をすることが必要、最低限、自分が持って避難できる物資（飲み物・水・薬など）を準備することから始める。</li> <li>* 防災情報を一度に伝えるのではなく、個人準備、避難場所、避難所の運営などをシリーズ化して発信する。</li> <li>* YouTubeなどの動画で実際の防災グッズや準備方法を見せると理解しやすい。</li> <li>* 既存の人気YouTuberや防災系コンテンツを活用する方法もある。</li> <li>* 子どもでも理解できるレベルで説明すると、高齢者にも伝わりやすい。</li> </ul> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">(裏面に続く)</p>			

	<p>○意見を踏まえて、今後は、まず「何を伝えるか（コンテンツ）」を決めて、次に対象となる世代に合わせて、「どの媒体で発信するか（SNS・動画など）」を検討することにしました。</p> <p>○検討に充てっては、西区総務課の安心安全の担当に協力してもらいながら進めていくことにしました。</p>
その他	<p>◎次回の部会</p> <p>日時：令和8年4月6日(月) 15:00～</p> <p>場所：西区役所4階 対策室</p> <p>内容：第10期 提案事業の検討 ほか</p>

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	防犯/防災 【事業費予算 600 千円】
事業目的・概要	西区は特殊詐欺、自転車盗難の被害が新潟市のなかでも多く発生していることから、被害防止に向け、実際に被害に遭っている(狙われやすい)年齢層を対象に各種防犯活動を検討する。 また、西区には自主防災組織が多数あるが、地域によってはうまく機能していないなど、防災意識に格差があるため、各自主防災会のレベルの底上げにより、地域格差の是正を目指す。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>①特殊詐欺防犯講演会 地域コミュニティ協議会から、小規模化した防犯講演会を開催してもらい、西区自治協議会が講師の派遣や、啓発グッズを配布するなどの支援を行うことで、より多くの高齢者に特殊詐欺被害防止の啓発を行うこととした。講師は新潟西警察署の生活安全課にお願いするほか、地域の要望に応じて、「三流亭楽々」さんや「中野小路たかまる」さんなど、落語や漫談で楽しく防犯を学べる講師を手配することで集客を増やすこととした。</p> <p>②自転車盗難防止キャンペーン 自転車盗難が多く発生している区内の駅を利用する高校のうち、日本文理高校の生徒会から主体的に自転車盗難防止の啓発活動に取り組んでもらうこととした。今年春の実施に向けて、西区自治協議会第1部会の委員と、新潟西警察署生活安全課の職員が生徒会の役員と自転車盗難の現状と対策について情報を共有し、生徒会から啓発活動時に配付するノベルティの候補を考えてもらい、西区自治協議会で購入することで、高校生の主体的な活動を支援した。</p> <p>③自主防災組織の活動支援 地域防災意識の向上や、自主防災組織の運営力の向上、格差是正を目指し、各地域の自主防災組織の現状と課題を聞き取るアンケートを実施した(138団体に依頼、回答数114団体、回答率82.6%)。アンケート結果を踏まえ、各団体が主体的に防災活動に取り組めるようになるためのツール(動画形式のマニュアルや研修キットなど)の作成を検討した。</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【成果】</p> <p>①特殊詐欺防犯講演会 区内15の地域コミュニティ協議会にアンケートを実施し、令和7年度は1件支援の要請があったが、当該講演会が市の補助金事業であったため、共催により人的、財政的支援をすることができなかった。だが、講演会担当者に警察署と三流亭楽々さんを講師として紹介することで、コミ協の講演会の内容を充実させることができた。</p> <p>②自転車盗難防止キャンペーン 自治協議会委員と高校生、そして新潟西警察署で情報共有、意見交換を行うことで、高校生の防犯に対する意識を高めることができ、自発的な活動に結びつけた。また、高校生から啓発活動時に配付するノベルティを考えてもらうことで、若い世代からも手に取ってもらいやすいノベルティを用意できた。</p> <p>③自主防災組織の活動支援 自主防災組織を対象に行ったアンケート結果から、各組織の困り事や、必要な支援を類型化することができ、支援する対象や内容を絞り込むことができた。</p>
備考	

# 西区自治協議会 第2部会 令和7年度 第12回会議概要

(所管分野:保健・福祉、文化・スポーツ、教育等)

開催日時	3月9日(月) 午後1時30分～3時00分	会場	西区役所4階 対策室
出席者	委員	出	山岸部会長、竹田副部会長、笹川委員、藤橋委員、大島委員、青木委員、羽賀委員、高橋委員 計8名
		欠	長澤委員、西山委員、山口委員 計3名
	事務局		地域課 八木澤係長、佐々木主事
主な議事	<p>(1)前回の振り返り ○前回の会議概要をもとに振り返りを行いました。</p> <p>(2)今年度の事業評価書の確認 ○事業評価書(案)の最終確認を行い、別紙の通りの内容を確定しました。</p> <p>(3)提案事業の内容検討について ○進捗確認や内容検討を行いました。決定事項などは以下の通りです。</p> <p>【支え合いの大切さ普及事業(あいさつ運動)】 *各団体への媒体配布状況確認 ⇒ 一覧表の記載の一部修正 *予算執行状況の確認 ⇒ 在庫が少なくなった配布媒体の補充に充当 ➡人気の高いのぼり・ラミネートポスターを検討(後日見積を見て部数を決定)</p> <p>【第10期の提案事業】 *資料4に基づき、今後の進め方や検討の方向性を再確認しました。</p> <p>&lt;情報整理対象の検討&gt; *今後整理すべき情報の範囲について意見交換を行いました。</p> <p><b>主な意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共施設と連携できる」という自治協の強みが生かされるとよい。</li> <li>・公民館や図書館の現場では、コロナ以降学生が戻ってこなかったり、本を借りてくれなかったりという現状もあるらしい。</li> <li>・公共施設と連携することで、自治協が新たに何かを実施するよりも持続可能な取り組みができるのではないか。</li> </ul> <p><b>決定した内容</b> 中学生のアンケートで一定の需要があった「公民館・図書館」に注目し、両施設がより中学生に親しみやすい場となるような取り組みを検討していく。(情報提供や親しみやすい場づくりなど)</p> <p><b>今後の進め方</b> 次回の部会で、公民館・図書館と連携して、どのような取り組みができるかヒアリングを行う。</p>		
その他 (次回日程)	<p>日時：令和8年4月10日(金) 15時30分～</p> <p>場所：西区役所4階 対策室</p> <p>内容：第10期 提案事業の検討 ほか</p>		

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	①支え合いの大切さ普及事業(継続) ②西区「すき間」コネクトプロジェクト(新規) 【事業費予算 計 600 千円】
事業目的・概要	①令和4年度に行った「支え合い」に関するアンケート調査結果から、中学生から50代までの現役世代において、支え合いの重要性は認識しているものの具体的に行動できていない人が多いことが分かった。これを踏まえて、現役世代を中心に普段から必要なときに能動的に支え合える環境づくりを促すためのきっかけづくりに取り組む。 ②事業検討ワークショップから出されたキーワードから「人と人との「間」を埋める」をテーマとし、区内の福祉情報を収集し、ネットワーク化・一覧化させ、必要な人に必要な情報を届けること(=「すき間」を埋めること)を目指す。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	①「5のつく日は“ご”あいさつデー」の水平展開 支え合いの行動を起こす際のきっかけとなる“他者への声掛け”が自然に出来る環境づくりのため、「毎月5のつく日はごあいさつDAY」をキャッチフレーズとした「あいさつ運動」の水平展開に向けた活動を実施した。 ○区内団体への活動周知 地域や各団体で活動が広がり浸透していくよう、区内の各コミュニティ協議会や自治会、公立学校などに向けて、活動の周知ならびに広報媒体(のぼり旗・ポスター・広報カード)の提供を呼びかけるチラシの配布や広報媒体の提供を行った。 【チラシ配布団体】 ・区内コミュニティ協議会(ならびに各所属自治会)：15団体(314自治会) ・区内公立小中学校：28校 【協力(広報媒体受け取り)団体】…全63団体(R6～通算) ・区内コミュニティ協議会(ならびに各所属自治会)：39団体 ・区内小中学校/幼稚園：18校 ・事業者など：6団体 ※配布媒体数(R6～通算) のぼり旗…217本 / ポスター…151枚 / 広報カード…約12,500枚 ②中学生の放課後居場所マップづくり(仮称) 幅広い対象が想定される本事業のキックオフ企画として、部活動地域展開が進む中で、放課後の居場所がない・わからない状態の中学生世代のこどもを減らすことに目的を絞り、アンケート調査を通し、中学生の放課後の居場所づくりに役立つ成果物の作成を企画した。 (1)「放課後の過ごし方」に関わるアンケート調査の実施 ・調査対象：区内公立小学校(高学年)及び公立中学校の児童・生徒 ・調査方法：GoogleフォームによるWEBアンケート(任意回答) ・実施期間：令和8年1月14日(水)～令和8年1月31日(土) ・回答数：3,255件(回答率：51.0%) (2)アンケート結果の分析ならびに企画検討 (1)のアンケート実施後の部会で結果を分析し、どのように企画内容に反映させていくかの検討を行いました。検討の結果、マップ等の成果物にまとめることで、放課後の居場所づくりにつなげることとした。
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	【地域課題の抽出方法・企画立案について】 ①令和4年度実施のアンケート結果に基づき開始した、支え合いの行動を起こすきっかけづくりとしてのあいさつ運動の水平展開の継続ということで、データに基づき、かつ地域で取り組みやすい活動の形態を企画できた点が評価できる。 ②委員が身近に感じていることから課題を抽出し、実際に対象世代にアンケートを実施し、その分析結果に基づいて、課題を解決する取り組みを企画したことで、事業対象の立場のニーズに沿った事業を企画できた点が評価できる。 【事業の公益性・実効性・効率性の評価】 ①今年度から「より地域へ浸透させていく」ことを目指し、委員による運動実施ではなく、各地域・団体で継続してもらえるよう、活動の主眼を「各団体の活動支援(広報媒体配布など)」に切り替えたことで、事業の実効性が向上したと評価できる。また、事務局や各委員のつながりのある各団体への依頼や会議での説明機会を活かし、効率よく事業広報が行えた。 ②全国的に課題となっている部活動の地域展開後の放課後の過ごし方について、実際の中学生世代の考えを知ることができたという点で、一定の公益性があったと評価できる。また、アンケート実施にあたっては、事務局と公立学校のコネクションを最大限にいかして、説明段階から実施段階まで円滑に進行ができ、実効性や効率性の面も高く評価できる。
備考	

# 西区自治協議会 第3部会 令和7年度 第12回会議概要

(所管分野:産業、区の魅力発信、交通等)

開催日時	3月11日(水)午後3時00分～4時30分	会場	西区役所4階 対策室
出席者	委員	出	山賀部会長、渡邊副部会長、中村委員、伊藤(甲)委員、大矢委員、尾田委員、河内委員、塩川委員 計8名
		欠	荻野委員、古俣委員、今村委員 計3名
	事務局		吉岡地域課長補佐 ほか3名
主な議事	<p>(1)部会の振り返り ○前回の会議概要をもとに振り返りを行いました。</p> <p>(2)今年度の事業評価書の確認 ○山賀会長より資料2に基づき、説明がありました。 ○先月の部会で出された修正点や更新された情報での修正の確認をし、事業評価書の内容を確定しました。</p> <p>(3)提案事業の内容検討について ○各事業の進捗確認や内容検討を行いました。 確認した内容や出された主な意見などは以下の通りです。</p> <p>【大学生による魅力発信プロジェクト】 ○資料3に基づき、山賀部会長より報告を行いました。 ○各ルートの今後の活用方法として以下のように決定しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*各ルートについてビジュアル的にわかるリーフレット形式にまとめる *作成したリーフレットをもとにした取組(バスツアー・まちあるき等)を来年度検討する。</p> </div> <p>【農業の魅力発信事業】 ○今回は検討なし</p> <p>【地域の見える化プロジェクト】 ○資料4に基づいて、現時点での回答内容や結果のまとめ、回答内容に対して事前にあげられた委員の意見(提案含む)を確認しました。 ○確認した内容や事前意見をもとに、当日出された意見や今後の方向性(案)は以下記載のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【意見】 *各地域のお祭りなどの行事を時系列化して、区民がアクセスしやすいようなきっかけづくりにするといいい。 *各地域の`売り、となるもの(独自なもの)を出していきたい。 *各地域の資源を深掘りして広報に活かさないか。</p> </div>		

	<p>*調査でみえてきた各地域の特色や強みと自治協の取り組みをうまく繋げられるといい。</p> <p>*コミ協同士で勉強になるきっかけになるといい。</p> <p>*データ量が多いため、一般の人にも伝わるようなまとめ方ができるといい。</p> <p>例:フィルターで絞り込みができるオンライン地図等</p> <p>【今後の方向性(案)】</p> <p>*既存の「西区ガイドマップ」を自治協目線から見直ししてはどうか。インターネット上での展開も考えたい。</p> <p>*各地域のお祭りに注目した情報整理を行う。</p> <p>*調査でわかった西区の多様な魅力について、一般の人にも伝わるようなまとめ方を引き続き研究していく。</p> <p>○次回以降、今回の意見をもとにデータ整理やまとめ方について検討を継続することとしました。</p>
その他	<p>○次回開催日・開催場所</p> <p>日時:令和8年4月9日(木) 13:30~15:00</p> <p>場所:西区役所4階 対策室</p> <p>議題内容:第10期 提案事業の検討</p>

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	区の魅力発信事業 【事業費予算 600 千円】
事業目的・概要	<b>【事業目的】</b> 西区の魅力ある地域資源を再発見・整理し、区民や区内外へ効果的に発信するとともに、地域間や関係団体間での情報共有を促進することを目的とする。 <b>【事業概要】</b> 大学生委員による魅力発信の検討および農業に関する情報発信のための調査、区内各地域の資源の見える化に取り組み、若者視点の活用や既存資源の整理を通じた魅力発信の基盤づくりを行う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<b>【区の魅力発信事業実施に向けた調査・研究】</b> ①大学生委員による魅力発信プロジェクト 大学生委員が主体となり、区内の魅力あるスポットを公共交通機関を利用して巡るルート案を検討・作成した。 現在、作成したルート案をもとに、実行性のあるプランとなるよう調整している。  ②農業の魅力発信事業 農政商工課より西区の農業の状況や区の支援事業について説明をうけ、現状を把握した。この学びをもとに、広報紙チームと連携を図り、令和8年度から自治協広報紙「西区を豊かに」において、農家・農産物・直売所・レシピ等を紹介する特集コーナーを掲載することとした。  ③地域の見える化プロジェクト 区内15のコミュニティ協議会ごとに、地域の実状や魅力的な資源などに関する調査を実施。区内の各地域の実状や魅力的な資源を明らかにし、今後の情報発信や地域づくりに活かす。 調査対象：区内にある15コミュニティ協議会 調査方法：調査票による任意回答(メールまたはFAX) 調査結果：13コミュニティ協議会による回答(回答率：約87%/3月11日時点)
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<b>【評価】</b> 各事業とも実施に向けた検討や準備を着実に進めることができた。大学生委員の視点を生かした新たな魅力発信の方向性が示されたとともに、農業や各地域に関する情報の整理・共有を行い、魅力発信のための基礎づくりが進んだ点は評価できる。 大学生による魅力発信プロジェクトについては、交通と区の魅力という2つの視点から、さまざまな年代や地域に着目してルート案を検討できた。 農業の魅力発信では、区民(自治協)としての農業支援を考える機会となったことや、発信において他部会と連携することで効率的な実施となった。 地域の見える化プロジェクトについては、各地域の実状や魅力を一覧として整理し見える化することで、点から線、線から面への展開や地域どうしの連携を可能とすることにつながった。また、今までとは異なる視点を生かした魅力発信についても検討ができた。  <b>【今後の課題】</b> 令和7年度はいずれの事業も調査や実施に向けた検討を進め、魅力発信の具体的な取り組みは次年度に実施することとした。調査や検討の結果を十分に活かして実行し、区民および西区来訪者にとってわかりやすく効果的な発信となるよう努める。
備考	

# 西区自治協議会 総務特別部会 令和7年度 第19回会議概要

(所管分野)

本会の議事調整、協議会全体にかかる事項の検討、西区自治協広報紙の企画

開催日時	3月19日(水) 午後3時00分～5時00分		会場	西区役所 4階 対策室
出席者	委員	出	風間会長、岩沢副会長、山賀副会長・第3部会長、伊藤(健)第1部会長、山岸第2部会長、長澤委員 計6名	
		欠	(広報紙作成メンバーは招集なし)	
	事務局	兼島地域課長、ほか地域課4名		
主な議事	<p>(1)第12回 西区自治協議会(案)について</p> <p>○次第(案)に基づき、議事・報告内容や進行について確認しました。</p> <p>○確認の結果、円滑な進行のために、部会報告の順序や資料構成を一部修正することとしました。</p> <p>(2)今後の西区を元気づけるプロジェクトについて</p> <p>○これまでの検討の経緯や先月本会後の委員研修のポイント、意見交換時に出された意見などを再確認しました。</p> <p><b>研修のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力は、人々がその地域に対して持つイメージで形作られる。</li> <li>⇒西区やその取組を知って、訪れてもらうことが必要(関係人口増)</li> <li>・特定エリアの取組を地域の魅力を知るきっかけとする活用が必要。</li> <li>・まずは小さな取組で他地域の人が参加できる工夫をし、徐々に認知度やエリアを広げていくことが重要。</li> </ul> <p><b>委員研修時の主な意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力をより多くの人に届け、訪れてみたいと思ってもらえる工夫が必要。</li> <li>・既存の取組を活用で、西区を訪れる人・関わる人を増やすことが必要。</li> </ul> <p>○上記を踏まえ、今後の方向性や具体的な取組内容の検討を行いました。</p> <p><b>今後の取り組みの方向性</b></p> <p>①西区への来訪機会の創出</p> <p>区内の既存の取組を活用し、西区を訪れる人を増やす取組を検討・実施。 (例:発酵街道イベントの参加者増や認知度向上につながる取組)</p> <p>②発酵街道を「西区の魅力」ととらえた事業展開</p> <p>「発酵街道≠佐潟エリアの取り組み」から「発酵街道＝西区の魅力を知り楽しむきっかけの一つ」という発想へ転換。①のような取組で認知度が高まってきた段階で、区内各地のイベントや祭りとの連携、出張企画などにつなげていく。(認知度が低い段階での広域展開は難しい。)</p>			
				裏面へ続く

**具体的な取り組み内容**

来訪者(=関係人口)の増加を目標に、下記の取組を検討していく。

- ①アクセスの向上につながるツアー企画  
公共交通を用いてのアクセスが難しい方や不便な地域の方の来訪をもっと増やすために、その層に寄り添ったツアー企画を計画する。
- ②体験コンテンツの充実と情報発信  
お酒を飲まない人(親子連れ等)も楽しめる体験コンテンツ(食・農)を充実させるとともに、対象世代に適した情報発信を行い、来訪者を増やす。
- ③モデルコースの設定  
前回のアンケートの「回り方がわからない」「どのようなイベントが分かりにくい」という回答があったことを踏まえ、イメージのしやすさや楽しみやすさを向上させる。モデルコースを設定し、冊子やカードなど手に取ってもらえる媒体やウェブマップなどの作成を行う。
- ④一般の方の力も借りた広報戦略  
SNS を活用したフォト企画を開催するなど、一般の方も巻き込んで情報発信の渦を作ることで、さらに多くの人に向けた「発酵街道」の周知につなげる。

**その他の意見**

- ・モデルコース作成はツアー(ガイド付き)とも相性が良いと思う。
- ・映像コンテンツの活用も視野に入れられるとよい。
- ・事前に取得できるクーポン企画も面白いと思う。

○また、本事業の令和7年度 事業評価書の内容についても確認を行い、案の通りに内容を確定しました。事業評価書は別紙の通りです。

その他

◎次回日程

日時：令和8年4月22日(水) 15:30～

場所：西区役所3階 303会議室

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>西区を元気づける事業 【事業費予算 200千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p><b>【経緯】</b> 長年イベントありきで実施してきた「アートフェスティバル」事業の見直しを行うため、事業の経緯や成果、当初の課題の振り返りと整理を実施した。その結果、「アートフェスティバル」のイベント実施を終了し、「西区民を元気づける」ための新たな事業を検討する方針に決定。</p> <p><b>【目的】</b> 西区自治協議会の委員が関われる形の「西区を元気づける」事業を実施し、区の活性化につなげる。</p> <p><b>【概要】</b> 委員による事業検討ワークショップで頻出した「祭」「食」「酒」といったキーワードに着目し、区内の既存の事業と連携して、既存事業のさらなる活性化や区全体としての盛り上げの創出につなげる。</p> <p>〈令和7年度の取り組み〉 ・発酵街道開実行委員会 主催イベント「オーライ！発酵街道開2025」との連携</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○「オーライ！発酵街道開2025」事業との連携 令和7年10月4日(土)～令和7年10月13日(月)の期間、西区の西エリアや西蒲区・弥彦村などを対象として、発酵街道開実行委員会が主催したイベント事業に連携し、側方支援的な事業を実施した。</p> <p>〈発酵街道開 来場者アンケートの実施〉 開催期間中にイベント会場に来場した方を対象とし、来場者の意見や満足度を調査・収集するアンケートを実施。</p> <p><b>【実施内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法：GoogleフォームによるWEBアンケート (イベント会場二次元コード・各種SNSからアクセス)</li> <li>・回答人数：198名</li> <li>・主なアンケート結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 参加者属性…30～60代の参加多数、市内参加8割、回答は女性が7割弱。</li> <li>* 広報…SNSが最も効果的、その一方でチラシや口コミも効果あり。</li> <li>* 満足度…概ね良好(とても満足～満足が6割弱)</li> <li>* 企画評価…酒造・醸造・パン・カフェなど飲食系が高い人気(関心テーマも同様)</li> <li>* 改善点…案内の明快さ、周知徹底、こども向け企画、シャトルバスが多数。</li> <li>* その他…次回開催を希望する声多数</li> </ul> </li> <li>・その他：回答者から抽選で30名に返礼品贈呈(発酵調味料、お酒 各15名)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>お酒</p>  <p>発酵調味料</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>同封するカード</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>発酵調味料のパッケージ</p>  </div> </div> <p>〈佐潟ファーマーズマーケットへのブース出展〉 イベント期間中に事業の一環として佐潟公園で開催された佐潟ファーマーズマーケットに西区自治協議会として広報と上記のアンケートを実施するブース出展を実施。</p> 
<p>事業の評価 地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</p>	<p><b>【地域課題の抽出方法や企画立案の評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決したい地域課題や目的が不透明になっていた事業の見直しを行い、区の活性化を目的とした新しい事業として設計しなおしたうえ、委員による地域の魅力を掘り起こすワークショップの結果に基づき事業検討をしたことで地域の現状の課題や身近な魅力などに即した企画となった。</li> <li>・行政や民間事業者が一丸となって取り組む事業との連携を行ったことで、区が目指す方向性に沿った事業展開となり、事業成果を広げることにも寄与した。</li> </ul> <p><b>【事業の公益性・実効性・効率性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回開催であった本事業のアンケート実施を補助したことにより、今後の事業実施や事業改善にあたって重要なデータを集めることができた。</li> <li>・側方的な事業支援にあたって、事務局のつながりを活かして情報収集ならびに事業準備を行うことができたため、高い実効性・効率性で事業が実施できた。</li> </ul>
<p>備考</p>	